

地域振興推進費事業計画・自己評価書（実績）

提出区分		実績	整理番号	6	課題区分	C	
横断的な課題		「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり					
地域重点政策		「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり					
実施機関		佐久地域振興局			担当課	所属	林務課
事業名		”お木変え”から始まる！ウッドチェンジゼロカーボン地域創出に向けた普及啓発事業				電話	0267-63-3153
						E-mail	sakuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	木のよさを「知る・触れる・使う」ことで、木のある暮らしのきっかけを作り、ウッドチェンジの促進を図る。					
	現状と課題	1 佐久地域は森林が多く、山や森が身近にある反面、「木に触れる・木を使う」機会は少なく、暮らしの中に木を使う生活があまり定着していない。体験を通して、木の温かみや心地よさを五感で感じてもらい、木の良さを再認識してもらう必要がある。 2 木を「伐って、使って、植えて、育てる」ことが、持続可能なサイクルになるという認識を広げるとともに、環境活動への関心を高める必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	○木に”触れる”、木を”使う” ウッドチェンジが担う環境への役割や、森林・林業の現状・課題について知ってもらうため、昨年度お木変えプロジェクトで作成した動画を活用するとともに、森林や木に触れる体験会を開催する。 ・木工教室等の開催（小海線活性化コラボ） 木の温かみや心地よさを五感で感じってもらうため、小海駅を中心に、木工体験、木を使った遊戯の体験、精油の香り体験等を開催し、木を楽しみ、作った作品や景品を持ち帰ってもらうことで、木のある暮らしの足掛かりをつくる。 日時 令和6年8月24日（土）午前10時～午後4時（6時間） 場所 JR小海駅舎内（1階センターホール及び2階エキウエ） 及び コミュニティ施設アルル 対象 メインターゲットとして南佐久郡在住の親子連れを想定。 小海線利用者も視野に入れ、北佐久郡及び小諸市、佐久市も排除するものではない。 ○持続可能な森林・林業のための「学び」の推進（木を”知る”） 管内在住者を対象とした体験・学習会を開催する。 森林・環境教育の実施、県産材（カラマツ）の施設見学ツアー 日時 令和7年1月24日（金）午後1時～16時15分 場所 長野県佐久合同庁舎講堂及び長野県立武道館 対象 森林・林業、施設見学に興味のある方					
	事業期間	R6.7 ～ R7.2					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等		実施内容	実績額	備考		
	森林に親しみ木に触れる体験会の開催		お木変えプロジェクトで作成した動画を活用し、森林や木に触れる体験会を開催	254,794			
	持続可能な佐久カラマツ林整備のための「学び」の推進		林業体験会 年1回 森林・環境教育	36,311			
	合 計		291,105				
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	森や木に触れる体験会の参加者数			50人	300人	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成	
	林業体験・学習会の参加者数			20人	23人		
事業実績・成果	【体験会】 木製品の展示・即売会、木工体験(キノハナkinano、枝でクラフト)、フィンランドの伝統的な遊びを元にしたスポーツ「モルック」、カラマツ精油の抽出実演等、多彩な内容で体験会を実施。しあわ戦隊KOUMIマンのショーや、アルクマ、ミス日本みどりの大使ミニライブ等が会場を盛り上げ、約300名の来場者に木の良さを認識してもらい、ウッドチェンジを推進することができた。						
	【森林環境教育】 高校生以上の県民を対象に、森林・林業が自然環境や私たちの生活に与える影響について学習会を開催し、木造施設の見学を通じて、佐久地域の「林業」や「森林の多面的な活用方法」を知ってもらうと同時に、将来の就業の選択肢として認識してもらえた。						
今後の方向性		引続き『ウッド・チェンジ』の推進PRに取り組むとともに、木材の利用拡大を図っていく。森林環境教育についても広くPRを図り、参加者を増員すると共に、テーマを絞ることも検討していく。					